

2025年度

日本民藝館展

— 新作工藝公募展 —

応募要項

◎趣旨

日本民藝館展は、柳宗悦の唱える「正しい」工芸の発展を図るために、暮らしに根ざした伝統的な手仕事と、天然素材のもつ健やかな美を宿す工芸品の出品を募って、その優秀作を展示紹介し、普及させることを目的とするものです。この目的に沿った「用に即し繰り返し作り得る品」を核とした出品を望みます。

◎運営

この展覧会は、日本民藝館運営委員会が組織し、運営します。

技とか腕の競争ではない。柳が見つけた魅力、愛らしさを見つきたいのだ。魅力は匠の上にあるもつと素敵な説明のつかないもの。日本民藝館展をそういう魅力あるもので埋め尽くしたいのだ。

日本民藝館展審査委員長

深澤直人



会期・11月22日(土)―12月17日(水)

会場・日本民藝館大展示室他

主催・日本民藝館

後援・日本民藝協会

応募問い合わせ先・日本民藝館

電話・03・3467・4527

— 2024年度日本民藝館賞受賞作 —
漆塗小判桶 宮原健一 (長野県)

日本民藝館展出品作品を募集します。

◎募集分野

陶・磁・染・織・木・漆・ガラス・金・石・竹・紙・編組・皮革など、工芸の全ての分野。

◎申込搬入方法

①持参搬入の場合

全ての部門………10月15日(水)～10月18日(土)
10時～12時、13時～16時

所定の出品目録に記入の上、出品物に出品料等を添えてご持参下さい。

②輸送搬入の場合

- a. 出品目録は出品物とは別に、郵送にて日本民藝館展事務局までお送り下さい。 10月8日(水)～10月21日(火)必着
- b. 出品料等は左記口座へ10月21日(火)までに出品者名でお振込下さい。

振込先 みずほ銀行 北沢支店(店番213)

普通 1484170 公益財団法人 サシ 日本民藝館 ニホンミンゲイカン

※振込手数料はご負担願います。

c. 出品物の受付期間

染物、織物部門………10月15日(水)～10月18日(土)必着
陶磁、木漆、ガラス、その他の部門………10月21日(火)～10月25日(土)必着

③輸送・搬入場所

〒153-0041 東京都目黒区駒場4-3-33 日本民藝館展事務局

④出品料・出品点数

出品者1名につき出品点数5点以内は10,000円。
出品者1名につき出品点数6点以上は13,000円。

組物は1点と数え、出品点数は1名につき最多20点までとなります。

⑤その他

- ・出品物の大きさに制限は設けておりませんが、会場の都合により展示できない場合があります。
- ・搬入、運送中の事故や不可抗力の事故、災害の場合を除き、主催者側が責任を負います。各運送会社の注意事項を確認し、梱包をお願いします。

◎販売について

本展の趣旨により、出品物は会場にて販売致します。非売品は受付けませんので、出品目録に販売価格の明記をお願い致します。なお、販売価格の30%は手数料として本公募展の運営費に充当させていただきます。また、販売時は出品者記入の販売価格に消費税を加算致します。※売上金は2026年1月末頃に出品目録記入の口座へ振込致します。

◎搬出および返送料

入選作はできるだけ販売の斡旋を致しますが、残品となったものは、2026年1月9日(金)～18日(日)の間にお引取りください。返送希望の方には、会期終了後翌月中に返送致します。返送料・保険代金は出品者負担となります。なお、返送先の指定などがある場合は、前もってご連絡願います。

◎審査委員

〔審査委員長〕 深澤直人(日本民藝館館長・プロダクトデザイナー)

〔審査委員〕 阿部眞士(作家)、石川昌浩(吹ガラス工)、小島貞二(染色家)、佐藤亘朗(漆工)、柴田雅章(作家)、津田千枝(染色家)、伏見眞樹(漆工)、柳悦州(染織家)、山下健(染織家)、杉山享司(日本民藝館常務理事)

〔部門別審査委員〕 陶磁部門 阿部眞士、柴田雅章、杉山享司

織物部門 柳悦州、山下健

染物部門 小島貞二、津田千枝子

木漆工部門 佐藤亘朗、深澤直人、伏見眞樹

ガラス部門 石川昌浩、深澤直人

◎審査

〔一次審査〕 部門別審査委員による部門別審査を行います。部門別に該当しない分野(金工・紙工・編組品など)は全ての審査委員で、入選作および準入選作を選出します。

〔二次審査〕 全ての審査委員で最終審査および受賞作の選出を行います。

◎賞

日本民藝館賞……………すべての出品作の中で、最も優れた品

日本民藝協会賞……………日本民藝館賞に準ずる品

奨励賞……………本展の趣旨に適った工芸品として、奨励に値する品

◎入選作

民藝の美に根ざし、用に即した健やかな工芸品。入選作は展覧会の全期間陳列し、希望者には予約販売します。

◎準入選作

入選には至らなかったが、日本民藝館展の趣旨に適った工芸品。準入選作は展覧会会場に陳列し、希望者には即日販売します。

◎審査結果発表 11月13日(木) 郵送にて審査結果を通知します。

◎表彰式・講評会

日時 11月19日(水)

・11時～12時 受賞及び入選作の発表、全体講評(後日、期間・出品者限定のオンライン配信あり)

・13時半～16時半 部門別講評

(会場限定・配信なし)

会場 日本民藝館

会費 1名につき2,000円(要予約・当日現金払い)

※原則として、出品者以外の方はご参加できません。

2025年7月吉日

休館日…月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)

開館時間…午前10時～午後5時(入館は4時半まで)

所在地…〒153-0041 東京都目黒区駒場4-3-33

電話…03-3467-4527番

交通…京王井の頭線駒場東大前駅西口より徒歩7分

日本民藝館

—日本民藝館展 歴代の出品作—



鉄釉流丸文鉢 昭和33年個人賞
岡山・武内晴二郎 日本民藝館蔵



黒釉角火鉢 昭和43年日本民藝館賞
鹿児島・田中政幸 (苗代川焼) 日本民藝館蔵



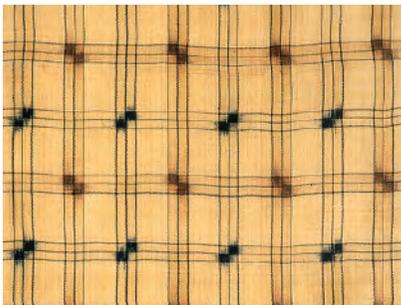
卵殻張銘々皿 平成18年日本民藝協会賞
岩手・光原社工房



竹籠 (きのこ入れ) 昭和46年入選
日本民藝館蔵



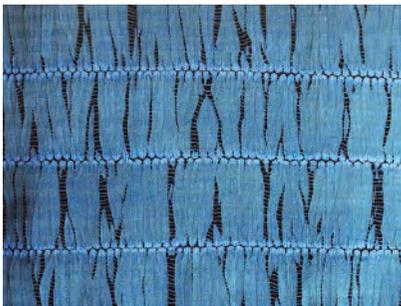
刷毛目打掛蓋付大壺 昭和62年入選
大分・小鹿田 大阪日本民芸館蔵



格子文芭蕉布 (部分) 昭和41年奨励賞
沖縄・平良敏子 日本民藝館蔵



絞手描花蝶文紬着物 (部分) 昭和40年頃
古澤万千子 日本民藝館蔵



絞染着物 (部分) 平成10年日本民藝館賞
大阪・岸野頼子 大阪日本民芸館蔵



絹格子着尺 (部分) 平成8年日本民藝館賞
群馬・伊田郁子 大阪日本民芸館蔵



荷背負蓑 昭和46年日本民藝館賞
山形 日本民藝館蔵